

(別添)

【アーティスト紹介】

佐倉 康之(さくら やすゆき); 壁画家



<http://members.jcom.home.ne.jp/4050881901/>

1967年 大分県に生まれる

東京芸術大学油絵科でフレスコ画の絹谷幸司氏に師事。

大学院壁画科ではモザイク画の麻生秀穂氏に師事し修了時に
は壁画部門の首席で第64号美術博士号を授与される。

イタリア政府給費留学生としてミラノ市立芸術大学(イタリア)
に留学。

大学卒業後に壁画工房さ組設立。医療施設やレストランなどの
壁画を多数手がける。特に高齢者複合施設『長寿福重館』
西浦天宣氏とのコラボレーション“アート&メディカル”プロ
ジェクトは“癒しの壁画”を医療の一環として展開。『全国癒し
の医療学会』(沖縄)で“壁画療法”として発表され高い評価を
受けた。フレスコ、モザイク、漆喰、陶壁と素材論のスペシ
アリストであると同時に異業種コラボレーションに意欲とア
イデアを發揮させる



【作品(陶壁画の為の習作): ジョーヤラに寄せて】

久の豊後水道に色とりどりの大漁旗で飾られた二船が浮かぶ頃、故
郷にも秋が訪れる。

大分県佐伯市霞ヶ浦の五丁の市『ジョーヤラ』は豊漁と海の安全
を祈願する祭だ。

船の上で五色のはちまきに赤い腹掛け姿の若者達が『ジョーヤラ
(漁あれ)』というかけ声にあわせて力強い踊りをみせる。

それは勇ましくも喜ばしくもあるハレの日の光景。

秋晴れの高い空、きらきらと光る海、祭り囃子の郷愁と心が沸き立
つのような高揚が同時に在る。大漁旗がたなびき色彩が溢れ出づる
元気が湧き上がってくる『原色』の日本がある。

さくら やすゆき